

折に触れ 四字熟語

NO. 67 『大寒索裘』 だいかん さくきゅう

< 意味 > 日ごろの準備を怠っていて、その場になってあわてるたとえ。厳しい寒さに直面して、初めてかわごろもを求める意から。
大寒に^{だいかん}裘^{きゅう}を^{もと}索む、と訓読する。

語 釈：「裘」はかわごろも、獣の皮で作った衣類のこと。「索」は求めること。

一 言：寒シリーズその3

「盗人を見て縄をなう」と同意です。

さしずめ、今の世であれば、先般の大雪の翌日、ホームセンターに雪用スコップを買いに行き、売り切れになっていて慌てた、という私がした失敗のようなことを言うのでしょうか。

参照文献：三省堂「四字熟語辞典」